

えみ 笑だより



3月号

発行：小規模多機能型居宅介護事業所「笑の里」（2023. 3. 1）

春の足音が近づいてきました。芽を出した草花に春の訪れを感じます。3月は『弥生』、「弥」にはいよいよという意味、「生」には生い茂るという意味があり、草木がいよいよ生い茂る月という意味だそうです。昔から「春は苦いものを食べよ」と言われています。苦味のある山菜にはミネラルやポリフェノールなど、細胞を活性化させる成分が多く含まれ、冬から春へ体も活動するための準備を始めるこの時期にふさわしい食材なのですね。さて、笑の里ではおひな祭りの準備を始めました。お内裏様は、関東地方では向かって左が男雛、右が女雛でこれが一般的ですが、京都では男雛と女雛を逆に飾るそうです。みんなで飾ったかわいいお雛様は、楽しそうなお利用者の方々を毎日すまし顔で眺めています。

◆◆◆ 笑の里利用状況 ◆◆◆



「笑の里」では下記のとおりご利用いただいています。

利用登録者 3月1日現在 19人（定員29人）

男性7人 女性12人

要支援1人 要介護18人（平均介護度 1.44）

デイサービス利用者 17人 毎日 5～12人/日

宿泊サービス利用者 4人 4日/月 3～4人/日

訪問サービス利用者 7人 毎日 3～5人/日

※ ご利用者様の状況により変動があります

…アルバムのひとつ…



今年も
お雛様を飾りました。
今からお雛祭りが楽しみです。



2月2日と3日の「節分祭」には
笑みの里に、赤鬼と青鬼がやってきました。
鬼ヶ島クイズの後は、大きな声で「福は内、鬼は外」と
豆を撒いて鬼退治。お昼はお寿司をおいしくいただきました。



『バレンタインデー』
ハートの風船をめがけてエイッ！
うまくハートの中に入ったかな？
手作りチョコのプレゼントに大喜び。

3月の行事予定

- ・おひな祭り（2・3日）
- ・お誕生会
- ・ふれあいサロン（2・16・30日）



※介護についてのご相談、お困りのことは
お気軽に「笑の里」までどうぞ・・・
☎ 38-0028 fax 47-7742
※緊急の場合は、080-6169-8080まで。